

取組方針 1 担い手の確保

- 先生との交流会では、企業の特徴がわかる資料を作成しPRすると良い。【取組方針②】
- バックオフィス業務など女性にも働きやすい業界であることを整理し、商業高校へアプローチすると良い。【取組方針①】
- 夏休みに小学生を対象としたイベントを催すと保護者も必ず参加するため保護者へのPRになる。【取組方針④】
- SNSについては、#(ハッシュタグ)の活用など県と建設企業が連携し発信すると効果的。【取組方針④】
- 採用セミナーは、即効性があるため、リモート等を活用し県内の全域を対象にすると良い。【取組方針⑥】

取組方針 2 労働環境の改善

- ASPの普及は発注機関がASPの活用を指定すれば自ずと進む。県土整備部に限らず、他部局や市町へもしっかり浸透する取組が必要。【取組方針②】
- ASPの活用率をさらに上げるには市町の取組が重要【取組方針②】
- CCUSの普及に向けて、技術者がメリットを感じられる取組が必要【取組方針③】
- バックオフィス説明会については、多くの建設企業に知ってもらい取り組み方の検討をして欲しい。【取組方針②】

取組方針 3 生産性の向上

- 多くの人に知ってもらえるよう、建設DXセミナー等を継続的に実施していくことが必要。【取組方針①】
- 建設DXの取組は説明会や講習会を通じて必要性やメリットを理解してもらい、ボトムアップしていく必要がある。【取組方針①】
- 3次元測量データの提供においては、利用する企業の意見を聴き丁寧な対応が必要。【取組方針③】

企業の安定経営に向けた対応

- 売上高経常利益率については、今後も東日本建設業保証㈱調べと県土整備部調べの両方をモニタリングしていく方がいい。【取組方針①】
- 売上高経常利益率をしっかり分析し、取組につなげていくとよい。【取組方針①】